

議 事 概 要

【第9回北陸地域連携プラットフォーム 平成28年2月19日(金)】

【メンバー】

私も金沢は隣だからしょっちゅう寄せていただいております。今日も金沢で泊まる予定をしておりますが、金沢の文化はやはり富山と違ってすごいと。いつも本当に金沢へ来てやっと、金沢ほど文化的なところはやはり北陸3県の中でないのではないかと。教えていただくことがいっぱいありますし、その中で今ほどの茶の湯の心というか、そういうのはお茶だけじゃなく、人をおもてなしするというか、人を思う気持ち、配慮できるということが一番の大切な心だということで、また改めて本当にそれが基本じゃないかと勉強させていただきました。今日はありがとうございました。

【メンバー】

私も銀行員をしておりまして、日頃からお金の勘定とか、経済的な関わりの中でしか生活を送って参りませんで、今日は非常に普段とは違う観点でお話をお聞きしまして、ある意味では文字どおりカルチャーショックと申しますか、自分としては非常に意味のあるお話をお聞きできて良かったなど。

ちょっと質問ですけど、独座観念の中で初めて「一期一会」という言葉がお茶の世界で…。

【講師】

そうですね、「一生一度」という利休が使っている言葉があるのですが、その4文字の「一期一会」というのは、そこから引っ張ってきていると言われてます。

【メンバー】

この独座観念というのは井伊直弼…。

【講師】

井伊直弼です。御自身が『茶湯一会集』というお茶の本を書かれて、その中の独座観念という部分にこういう言葉が出てきます。

【メンバー】

これを1つ今日は勉強をさせていただいたのですが、明日から地元へ帰って十分に皆さんに御紹介申し上げたいと思います。

【講師】

もてなし、もてなしと言いますが、結局、今仰られたように、形ではなくて、要するに心の問題なのです。そういうのが「一期一会」という1つの言葉になったのだと思います。

【メンバー】

最初の「余情残心」というこの辺りから、自分も日本人に生まれて良かったなという文章でございました。ありがとうございます。

【メンバー】

これからも新幹線効果というのをいかに持続できるかということにかかっている部分もあるのではないかと思いますけれど、その1つのいわゆる根幹と言いますか、石川の文化であるし、それが今、お話をいただいた茶道、それと焼き物ですね。ですから、こういう文化というのを今、これだけ詳しいことを初めて聞きましたけれど、本当に感激をしております。こういうものをもっともっとやはり外部に発信することによって、石川の、また北陸の良さというものが浸透していく。それでさらに、新幹線効果を今から持続させることができるのではないかなと思っております。

【座長】

本日の話をお聞きする中で印象に残ったこと、1つは日本が新しいビジョンをどう描き、新しい姿を目指していくか。もう1つは価値観。価値観を転換しなければいけないというようなことが非常に印象に残りました。もう1つ欠けていたのはフランス。フランスは唯一先進国の中で人口が増えているんですね。やはり「フランスは実際どうなのか」ということは十分に勉強しなければならんというのをつくづく本日も感じました。

後半の茶道の講演、奈良先生どうもありがとうございました。私は茶道に次のような考えを持っています。これは、フランスの哲学者コジェーヴ、この方はおそらく茶道の世界でも色々議論されているかと思いますが、1902年から1968年の方ですね。この方が、1959年に日本にきています。ヘーゲルの「最後の人間」で、これはフランシス・フクヤマの書で、渡部昇一訳の「歴史の終わり」という中に出ておりますが、「階級がなく、互いに争うことがなく、生きる上で過酷な労働の必要もない世界では、人は人間であることをやめて動物性に戻るだろう」と、これが「最後の人間」ですね。

こういうかつてのコジェーヴの自分の見解を、1959年に日本へ来たときに、「例えそうした世界でも、そこに能楽、茶道、華道があれば、人が人間のままでとどまっていられる」と訂正するに至った。それほど茶道を中心とする日本の文化は世界に大きな影響を与えているというようなことであります。

また、司馬遼太郎の「日本人を考える」の中にありますが、もう今から50年前なのですが、今と同じようなことが言われております。今まで日本は西洋から学んでいたが、日本は世界で最も西洋と東洋をよくわかっているのだから、今こそ日本は世界に発信していかないと駄目なのだというようなことを言っています。私、本日、奈良先生のお話しをお聞きしまして、今の日本はソフトパワーでもって世界に発信すべきだということを改めて感じました。本日は情報を十分交換でき、大変嬉しく思います。

以上